

### 美術館・博物館 などの催し

#### 館林美術館たてび☆びじゅつ部「ちよこつと画家体験」

期日 11月10日(日)  
時間 午後1時30分～3時30分(受け付けは3時15分まで)

会場 県立館林美術館(館林市日向町)  
内容 画家になった気分キャンパスの切れ端にアクリル絵の具で絵を描きます

定員 100人(先着順)

費用 無料

申し込み方法 当日、直接会場にお越しください

☎0276・72・8188  
FAX0276・72・8338



小さいキャンパスに絵を描く

#### 自然史博物館サイエンス・サタデー「コハクをみがいて虫をさがそう」

期日 11月10日、17日、24日(いずれも土曜日)

時間 午後2時～3時(受け付けは1時30分から)

会場 県立自然史博物館(富岡市上黒岩)

内容 コハクについて学んだ後、コハクを磨いて、中に閉じ込められた虫を探します

講師 当館職員、ボランティア

対象 小学生以上の人  
※小学3年生以下は保護者の付き添いが必要

定員 各30人(先着順)

費用 無料

申し込み方法 当日、直接会場にお越しください

☎0274・60・1200  
FAX0274・60・1250



磨いたコハク

#### ぐんま昆虫の森「びんごまつり」\*

期日 11月17日(土)、18日(日)

時間 午前10時～11時45分、午後2時～3時15分

会場 県立ぐんま昆虫の森(桐生市新里町)

内容 園内で採れた大量のドングリを使ってドングリゴマなどの工作やゲーム、ドングリクイズ、パズルなどを楽しめます

対象 子どもと保護者

定員 各50組(先着順)

費用 無料

※別途、入園料がかかります

入園料 一般410円、大学・高校生200円、中学生以下無料

申し込み方法 当日、直接会場にお越しください

☎0277・74・6441  
FAX0277・74・6466

#### 歴史博物館企画展対談「群馬の県民性にせまる!」

期日 11月18日(日)

時間 午後1時30分～3時

会場 県立歴史博物館(高崎市綿貫町)

内容 群馬の県民性について、他の都道府県と比較して話します

講師 清水紀枝(秘密のケンミンSHOW)プロデューサー、当館学芸員

定員 144人(先着順)

費用 無料

申し込み方法 電話

☎027・346・5534  
FAX027・346・5534

#### 生涯学習センター「天体観測会」秋の星めぐり

期日 11月22日(木)

時間 午後7時～8時30分

会場 県生涯学習センター(前橋市文京町)

内容 星空解説の後、望遠鏡で秋の天体を観測します

定員 100人(先着順)

費用 無料

申し込み方法 当日、直接会場にお越しください

※途中の参加・退場もできます  
※天候不良時は予定を変更したり、中止したりすることがあります。詳しくはお問い合わせください

☎027・220・1876  
FAX027・221・5000

#### 県立図書館「県図書館大会」

県民の読書活動・生涯学習活動を推進するため、公共図書館や学校図書館の在り方について考えます。

期日 11月29日(木)

時間 午前10時～午後4時30分

会場 県立図書館(前橋市日吉町)

内容 ○式典・表彰式  
○記念講演  
・演題 ビブリオバトルでつながろう 人と本、人と人をつなげる、図書館にむけて  
・講師 谷口忠大(立命館大学情報理工学部教授)

○テーマ別分科会

・第1分科会 ライフワイズリーディングによる読書推進  
・第2分科会 災害時および復興における図書館の対応と役割

定員 150人(先着順)  
費用 無料  
申し込み方法 所定の申込用紙  
※記念講演だけ参加を希望する場合は、電話で申し込みます  
申込用紙配布場所 県立図書館、県内の市町村立図書館・公民館図書室など

#### 馬事公苑「体験乗馬教室4回コース12月生」

期日 12月1日(土)～31年1月31日(木)

希望する4回

※火曜日、12月29日(土)～1月3日(木)を除く

開始時刻 午前9時、10時、11時、午後1時、2時、3時

会場 県馬事公苑(前橋市富士見町)

内容 1回当たり45分間の乗馬

対象 当苑を初めて利用する、小学3年生から70歳までの乗馬初心者

定員 各20人(先着順)

費用 一般1万4千円、高校生以下1万2千円(受講料、保険料など)

申込期限 1月11日(金)

申し込み方法 電話予約後、所定の申込用紙

☎027・288・7002  
FAX027・288・8832



体験乗馬の様子

な中、佐野市で今年新たに誕生したのが「佐野黒から揚げ」です。このから揚げは、父親目線で地域おこしに取り組み「パパブロー」街佐野奉行所」が考案しました。

市内各店舗では、この奉行所オリジナルレシピに工夫を加え、各店独自の「佐野黒から揚げ」を販売しています。

味付けには、県内の高校で開発されたソースを使用。アユの魚鱈が隠し味で、スパイシーな後味がソースの深みと甘みを引き立てています。

現在は、約15店舗で提供されていて、その数はまだまだ拡大中。地元を愛する情熱が生んだグルメを、ぜひお試しください。

#### 茨城の「あんこう鍋」



茨城県観光物産課  
☎029・301・3622  
FAX029・301・3629

※詳しくは、県公式観光情報サイト「観光いばらき」(<http://www.ibarakiguide.jp/>)をご覧ください

#### 冬の絶景「袋田の滝ライトアップ」

茨城県北山間部に位置する大子町では、日本三名瀑の一つ袋田の滝のライトアップイベント「大子来入るダイゴライト」が31年1月31日(木)まで開催されています。

自然や星空、水を表現した光のトンネルを抜けると、荘厳な姿の滝が目前に広がります。光が創る幻想的な空間は、袋田の滝の新たな魅力を発見させてくれます。

☎0295・72・02885  
FAX0295・72・0963



濃厚なあん肝が味わえる「あんこう鍋」

「西のフグ、東のアンコウ」と並び称される、茨城県を代表する魚・アンコウ。特徴的な見た目ながら、さっぱりとした味わいでコラーゲンたっぷりの白身や、脂が乗った肝は絶品です。

11～2月にかけて旬を迎えるアンコウを余すところなく楽しむなら、あんこう鍋がおすすめ。醤油や味噌仕立てといったスタンダードなものから、水を加えず、アンコウと野菜から出た水分だけで作る濃厚な味わいの「どぶ汁」など、お店のこだわりが詰まった逸品を味わうことができます。今年の冬はあんこう鍋で、心も体も温まりませんか。



ライトアップされた袋田の滝